





好業  
友事  
靈善

## ミャンマーを実施

### 各地で亡き父へ語りかける

國政隆昭本会常務理事（鳥取県遺族会会长）を総括団長とする戦没者遺児によるミャンマー・タイ慰霊友好親善訪問団は、十一月二十八日から十二月六日までの九日間、永年の念願であつたミャンマー・タイの各地を訪れ、亡き父の眠る地において慰霊を行うとともに、小学校や病院を訪問し、民間外交を行い、友好親善を深めた。

十一月二十七日、全国

の遺児代表三十六人が東京・千代田会館に集合し、結団式を行い、靖国神社にて昇殿参拝後、前泊の成田へ移動。翌日の二十九日より二班に分かれ、それぞれの慰霊地へと向かつた。A班はテニー村、キヤクタガ東方、スワ東方、トンダーエ東方、ピューレ東方、カレワ北方、カレミョウ西方、ヤンゴン。B班はミートキーナ、C班はヤンゴン経由でバ

ンコクに到着した。

二十九日より二班に分かれ、それぞれの慰霊地へと向かつた。A班はテニー村、キヤクタガ東方、スワ東方、トンダーエ東方、ピューレ東方、カレワ北方、カレミョウ西方、ヤンゴン。B班はミートキーナ、

モガウン方面、マンダレー、メイミヨー、エンガム方面、ピヨベ、メークテーラ、パガン方面。

C班はバンコク、クンユアム方面、アンポパイ方面、モールメン、ラーヘン方面へと向かい、それぞれ慰霊祭を執り行い、それ亡き父に積年の思いを語りかけ、共に散華された英霊の冥福を祈つた。



小学校訪問の際、生徒らから歓迎を受ける団員ら  
=12月1日、ペリーで

### お父さんへ

第64回

父、亡上蘭利雄へ

こんな日がこようとは思いもしませんでした。昨年吉村昌幸さんに声をかけてもらわなかつたら実現しなかつたことです。親父の墓石に刻まれた戦死地フリーピン・ネグロス島笠置山は、小さい頃行ってみた海外ナンバーワンでした

が、年と共にだんだんその気持ちも薄れました。

日本遺族会では、戦没者の英靈顕彰や遺族保護、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のためご賛助金を募つております。

本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛同いたさざりますようお願い申しあげます。

日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、戦没者の英靈顕彰や遺族保護、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のためご賛助金を募つております。

